守山小学校のまえの川に、親子でほたるを飛ばす〈環境学習クラブ〉

ルシオール・キッズ・クラブ NEWS！！

〈2020年1月号〉

☆一緒に活動しませんか？（参加無料）☆
次回は、２月２２日（土）13:30～15:30
ほたるプランターづくり
その次は、３月８日（日）13:30～15:30 です。
よごれてもいいカッコウ、長靴でご参加ください。

ほたるの産卵床をつくったよ

守山小学校のまえの川に親子でほたるを飛ばすために発足した環境学習クラブ〈ルシオール・キッズ・クラブ〉の活動がはじまりました。

１月１８日（土）には、ほたるが卵をうむ場所をつくる作業を行いました。ほたるはコケに卵をうむということから、小学校のまえの川のカベに、コケをはりつけました。このあと、ほたるが飛ぶ５～６月までに、元気に育ってくれるか観察します。

＊　＊　＊

ルシオール・キッズ・クラブでは、ほたるが、卵から、幼虫をへて、さなぎになり、成虫となって夜空を飛ぶまでについて学びながら、ほたるが飛べる川づくりを行います（サイエンス学習）。

１月は、ほたるの産卵床づくりにチャレンジしました。

ほたるは、どこに卵をうむか、知ってますか？

ほたるは、川に流れる水のすぐ近くにあるコケなどに卵をうむそうです。

ところが、小学校のまえの川を調べたところ、コケがほとんど生えていませんでした。このままでは、ほたるの成虫（おとな）が飛んでも、卵をうむ場所がありません。そこで、今回、ルシオール・キッズ・クラブでは、小学校のまえの川にコケを育てる実験をすることにしました。

調べてみると、小学校から５分くらいあるいた、すこし上流にコケがたくさん生えているところがありました。

市役所の自然環境を守るお仕事をしている人にも相談して、今回は、上流に生えているコケをとって、小学校のまえの川の護岸壁（カベ）にはりつけて、元気に育ってくれるか、観察することにしました。

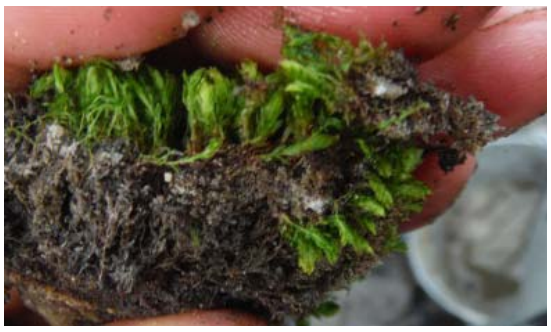
実験するために、図書館でコケの本を借りて調べました。またインターネットで、お寺の庭などにコケを育てる仕事をされている園芸屋さんのウエブサイトを見て、やり方を学び、カベのくぼみに砂と泥をまぜてぬり、コケをはりつけました。

もしも、うまくいけば、５～６月に、ほたるのメスが、わたしたちが育てたコケに卵をうんでくれるはずです。

次回は、２月２２日（土）の午後に、ほたるの幼虫がさなぎになるための土をいれるプランターを工作します。

いっしょに活動してくれる親子を募集しています（保険加入のため要申込み）。

［写真］採取したコケ（下）と
護岸壁にはりつけたコケの様子（上）



［写真］市内の川で、コケの上で休むほたる（撮影：碧いびわ湖/2019）

発行：ルシオール・キッズ・クラブ　　連絡先：あまが池プラザ０７７－５１４－２５０５ / 碧いびわ湖（NPO）info@aoibiwako.org